

研究タイトル:

質問紙を用いた繰り返し測定 of DIF 検討

氏名: 秋田 裕太 / AKITA Yuta

E-mail: akita@yonago-k.ac.jp

職名: 講師

学位: 博士(教育情報学)

所属学会・協会: 日本心理学会, 日本教育心理学会, 日本テスト学会, 日本武道学会

キーワード: 特異項目機能, 項目反応理論, テスト理論, 剣道授業

 技術相談
 提供可能技術:

- ・ヒトの「心理特性」や「学力」を測定するために用いられる質問紙の立案作成と運用
- ・全国学力学習状況調査や英検などで運用されている「項目反応理論」の実用
- ・「初学者が剣道授業に対して抱くイメージ」を測定する技術とその応用方法



研究内容: 質問紙を用いた繰り返し測定 of DIF 検討

教育学分野および心理学分野では、心理特性の変化を捉える1つの手法として、同一対象者に対して同一質問紙を用いた繰り返し測定が広く行なわれている。しかしながら、そのような測定においては対象者の飽きや倦怠感などが生じ、心理特性を適切に測定することができるかは明らかにされていない。

このような課題を解決する手段として、特異項目機能(Differential Item Functioning; DIF)の検出方法を応用し、シミュレーションデータおよび実際に対象者から得たデータによる検討を行なった。特異項目機能とは、対象者が等しい能力をもっているにもかかわらず、異なる集団に所属していることによって特定の質問項目に対する回答が異なることを指す。以上の技術を応用することによって、FD・SD などの評価、人事評価、企業評価で用いられる質問紙の質保証に貢献することが期待される。

担当科目

健康・スポーツ科学 I (高校1年生相当), 保健・体育 V (大学2年生相当)

過去の実績

東北大学 総長賞(東北大学 HP より引用「本学の教育目標『研究第一主義』にかなひ、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するもの」)

近年の業績

(研究・教育論文、特許含む)

- ・秋田裕太・矢野宏光(2020)女子中学生が剣道授業に対して抱くイメージの変容—剣道未経験者を対象に剣道具を付けず木刀だけを用いて実施した場合—, 武道学研究, 52(2), 133-141.
- ・秋田裕太・熊谷龍一(2020)対応のあるデータから特異項目機能が検出できるか—2母数モデルのシミュレーションとマンテルヘンツェル法による検討—, 東北大学大学院教育学研究科研究年報, 69(1), 171-191.
- ・秋田裕太(2021)女子中学生の剣道授業に対するイメージと自己に対する捉え方の関連, 東北大学大学院教育学研究科研究年報, 69(2), 257-264.
- ・秋田裕太(2021)同一受検者集団から得られた介入前後データの因子構造の検討—多母集団同時分析を適用した試み—, 日本テスト学会誌, 17, 97-101.

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

研究内容で記述した技術について提供可能。